

令和4年度 学校評価書

学校名	北海道札幌厚別高等学校
-----	-------------

学校関係者評価	
学校評議員 5名	
自己評価 の適正さ	改善に向 けた取組 の適切さ
A4 B1 C0 D0	A3 B2 C0 D0

1 本年度の重点目標

(1) 意欲的・継続的に自ら学ぶ態度を育てる (学 習 指 導)
(2) 思いやりの精神と自らを律する心を養う (生 徒 指 導)
(3) 将来を考え自ら進路を切り拓く力を養う (進 路 指 導)
(4) 自他の生命や人格を尊重する態度を育てる (健康安全指導)

2 自己評価結果・学校関係者評価の概要と今後の改善方策

(A:十分である B:おおむね十分である C:不十分である D:改善を要する)

※自己評価に基づき ABCD を記入しています。(A=100～76% B=75～51% C=50～26% D=25～0)

分野・領域	評価項目	達成状況		取組の適切さ	改善の方策		
学校目標 重点目標 経営方針	学校全体として教育目標達成のため努力している。	B		B	・定期的な教育活動の点検の強化 ・生徒の実態把握に向けた情報共有の強化	A4 B1 C0 D0	A3 B2 C0 D0
	各領域において適切な指導が実践され、生徒は充実した学校生活を送っている。	B		B			
	経営方針を踏まえた上で適切に職務が遂行され、保護者や地域からの信頼が寄せられている。	B		B			
学校関係者意見	情報共有を密に図って目標を達成してほしい。適正な改善策である。						
学習指導	基礎・基本を育み、学習意欲を喚起し学力向上を図る学習指導が行われている。	B	62%	B	・生徒による授業アンケートの活用 ・観点別評価の充実 ・タブレットPC等を活用したリモート授業の効果的な実施	A4 B1 C0 D0	A3 B2 C0 D0
	シラバスを活用した指導方法及び評価が適切に行われている。	B	64%	B			
	授業における基本的しつけは適切に行われている。	B	66%	B			
	成績不振者への対応・指導は適切に行われている。	A	76%	B			
学校関係者意見	引き続き、全と個のバランスのとれた指導の継続を望む。授業アンケートは効果的である。						
生徒指導	全職員の共通理解のもとで足並みを揃えた生徒指導が行われている。	C	38%	C	・SNS等によるいじめやトラブル防止の取組 ・チームとして連携した指導の徹底 ・生徒情報の共有化や報連相の徹底 ・家庭との連携強化	A4 B1 C0 D0	A2 B2 C1 D0
	生徒の実態や状況に応じた適切な臨場指導が行われている。	B	72%	B			
	生徒のサインや変化を見逃さないなど、いじめ等の未然防止に向けた取組に努めている。	A	90%	A			
	家庭や関係機関との連携が密に図られており、協力態勢が構築されている。	A	83%	B			
学校関係者意見	足並みを揃えた生徒指導に課題があるということなので、問題点を洗い出し具体的方策につなげられるとよい。						
進路指導	個人面談や三者面談の効果的な実施・活用など、保護者の期待や生徒の実態に即した進路指導が行われている。	A	79%	B	・大学教員等による出前講座の充実 ・3年間を見通したキャリア教育計画の充実及び総合的な探究の時間との連携 ・模擬試験、講習等の在り方の検討	A4 B1 C0 D0	A4 B1 C0 D0
	進路実現に係る情報や資料の収集、生徒や保護者に対する情報提供が迅速かつ適切に行われている。	A	79%	B			
	望ましい勤労観・職業観を育て、自己理解を促す指導が適切に行われている。	B	66%	B			
	模試・進路講習・資格取得検定は適切に計画・実施されている。	A	83%	B			
学校関係者意見	引き続き適切な進路指導の継続を望む。						
特別活動	各行事は生徒の意識や意欲を十分に喚起した上で実施されている。	A	88%	B	・各行事における「目的」を意識させる指	A5	A5

	部活動は生徒の自己開発・自己実現を図ることのできる場となっている。	A	90%	A	導と実施後の評価の徹底		B0 C0 D0	B0 C0 D0
	活動の施設設備や予算配分は適正で、活動のための環境は整っている。	B	52%	B				
学校関係者意見	将来の見通しを持てるという点で、キャリア教育の充実はよいと考える。							
健康安全指導	交通安全指導は十分に行われている。	A	84%	B	・実践に即した避難訓練等の防災教育と交通安全教育の充実		A5 B0 C0 D0	A4 B1 C0 D0
	健康安全指導は十分に行われている。	A	91%	A				
学校関係者意見	何が起こるか分からないのが今の時代であり、対策と強化に努めてほしい。							
年次学級経営	生徒とその環境を理解し、一人一人を大切にした年次・学級経営が進められている。	A	76%	B	・担任と教科担任等の連携のさらなる強化 ・年次内における情報共有や年次間の連携強化		A4 B1 C0 D0	A3 B2 C0 D0
	学級間・年次間の連絡が密に行われ、年次・学級経営が協働体制のもとで進められている。	B	62%	B				
学校関係者意見	引き続き関係の維持・向上に努めてほしい。							
分掌会議	分掌は適切に組織され、職務内容の明確化・均等化が図られており、効果的に運営されている。	B	53%	B	・校務分掌における業務内容の整理と精選 ・評価や反省に基づく改善の取組の推進		A3 B2 C0 D0	A2 B3 C0 D0
	会議は円滑かつ適正に開催され、PDCAサイクルに基づく活力ある教育活動が推進されている。	B	72%	B				
学校関係者意見	先生方の業務改善を進めながら、充実した教育指導ができるよう引き続き頑張ってもらいたい。							
学校事務	道費やPTA等の予算は適切に編成されている。	B	74%	B	・ガイドライン等による学校事務の適正化		A4 B1 C0 D0	A3 B2 C0 D0
	予算の編成・執行について、職員の意見や要望が生かされている。	B	69%	B				
	予算の編成執行について、透明性が図られ、適正に進められている。	A	79%	B				
学校関係者意見	引き続き適正な取組を望む。							
施設・設備	校舎や校舎周辺の維持管理は適切に行われている。	B	66%	B	・防災安全点検の徹底と迅速な対応 ・情報機器等の定期的な更新 ・図書館の利用者増を目指した工夫		A4 B1 C0 D0	A3 B2 C0 D0
	施設設備及び教材教具等の現状が把握され、適切な整備計画が立てられている。	B	57%	B				
	非常災害に対処する施設設備の維持管理は適切に行われている。	A	81%	B				
	情報機器や視聴覚施設・設備、図書館の充実が図られ、有効に活用されている。	B	72%	B				
学校関係者意見	予算面の問題もあり難しいと思うが、施設・設備の充実にあつてほしい。							
保護者、地域住民等との連携	本校の経営方針及び教育活動について、保護者や地域社会に理解され、協力が得られている。	A	76%	B	・連絡メール活用の積極的なPR ・回覧板活用など町内会との連携 ・ホームページにおける迅速な情報発信		A5 B0 C0 D0	A4 B1 C0 D0
	生徒や保護者が本校に期待することについて、全職員の共通理解が図られている。	B	52%	B				
	家庭との連携が図られ、学校の方針等は保護者に理解されている。	A	76%	B				
学校関係者意見	地域との連携は重要であり、引き続き関係の充実につとめてほしい。							